

女性や若い先生が生き生きと働ける職場へ

香教組青年部と女性部が専門部交渉

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ
<http://www.niji.or.jp/home/kakyo/homepage>

香教組定期大会
日程 2月22日 (土)
10:00~
※ 今回の定期大会は、大変重要な案件がありま
すのでぜひ多くの方がご参加
ください。

2014年1月10日、香川県教職員組合は県教育委員会と青年部・女性部が専門部交渉を行いました。この交渉は、毎年女性や若い青年教員が生き生きと働ける職場にしたいとの願いで、実施しているものです。青年部はスタート研、初任研、臨時教職員問題などを、女性部は、少人数学級、母性保護、労働安全衛生などについて交渉しました。

スタート研修 (青年部)

香教組 スタート研についてですが、2014年度もスタート研は実施する予定です。

県教委 その予定です。

香教組 12月にも面接がありますね。スタート研修を始める際の参加者の身分はどういう立場ですか。また、地方公務員としての立場ではないと思います。

県教委 新しく教員になるための支援と考
えており、あくまで任意の参加と考
えています。

香教組 県教委が研修日
として実施するな
らば、けがをしたときや事故に
遭ったときのために条例なりを
作るべきと考えますが。

県教委 あくまで自由参
加と考えています。

香教組 他地域の国立大
学出身者もいます。
卒業式との関係で参加が苦しい
方もいると思うのですが、今年



交渉で回答する県教育委員会 (上) と
質問する香教組青年部と女性部 = 県庁北館4階

はいつの実施ですか。
県教委 3月下旬を予定
していますが、ま
だ正式な日程は決めていません。

香教組 ぜひ、香大以外
の卒業生もいます
ので配慮してください。スター
ト研修は、やはり4月1日以降

に実施するべきだと思うのです
が。
(青年部はこれ以外に初任者研
修制度、臨時教職員の勤務条件
について交渉しました。詳しく
は青年部ビラをご覧ください)

労働安全衛生法について (女性部)

香教組 労働安全衛生法
の意義を全職員に
話し、衛生委員会や衛生推進者
を機能させて、現職死や病休者
が出ないようにお願いしたいの
ですが。衛生委員会は、実際に
いっどんな形で実施されている
のですか。

県福利課 衛生委員会や衛
生推進者の設置状
況は、100%と聞いています。
各学校の方で開催するように、
市町教委が指導していると思う



交渉で回答する県教育委員会 (下) と
質問する香教組青年部と女性部 = 県庁北館4階

開催できていな
い所があるのでお
願っています。

県福利課 これまでも、文
科省の労働安全衛
生に関する文書を市町教委に通
知しているほか、市町教委の担
当課長にも直接話をしていま
す。

香教組 委員を選ぶだけ
では衛生委員会は
開催できません。開催されてい
るかどうか確認するのが、仕事
ではないのですか。

県福利課 今後とも、市町
教委への指導や教
職員の意識啓発に努めて参りま
す。

香教組 県立学校などで
職員が50人以上の
ところは、衛生委員会がわりと
開催されています。それよりも
少ない小・中学校のようなところ
では、教頭先生が衛生推進者
となっていてところもあります。
せっかく養護の先生などが中
心となって、照度を測ってくれ
たり、水質を検査してくれたり
しているのも、もったしたこと
を周知してもらいたいです。

(女性部は、これ以外に少人数
学級の拡充を行うこと。母性保
護についてということで、病休
や産休の時の代替配置を早めに
配置してもらいたい等について
交渉し
ました。
詳しく
は女性
部のビ
ラをご
覧ください)



2月3日は「節分
(せつぶん)」です。
節分とは「季節を分
ける」という意味で

季節が移り変わる節日を指して
います▼立春・立夏・立秋・立
冬、それぞれ1年に4回節目が
ありますが、日本では立春は1
年のはじまりとして、とくに尊
ばれたため、次第に立春の前日
の節分だけが残るようになりました▼節分には豆をまきますが、
これは中国の習俗が伝わったも
のだそうです。豆は「魔滅(ま
め)」「悪いものを滅ぼす」とい
う意味があります▼昔、京都の鞍
馬で鬼が出たとき、大豆を鬼の
目に投げつけたところ、鬼を退
治できたという話が今に伝わっ
たといえます▼豆まきに使う豆
は、炒った豆でないといけませ
ん。なぜなら、生の豆を使うと
拾い忘れた豆から芽が出てしま
い効力がなくなるそうです▼
「炒る」は「射る」にも通じる
ので、豆で射てやっつけるの意
味があります。豆まきの後、豆
を食べますが、これが「鬼を退
治した」ということになるので
す▼さて、鬼はパンツをはいて
いますが、どうして鬼はトラの
パンツをはくかわかりますか▼
それは、「鬼門」に由来するの
です。「鬼門」は鬼の出入りす
る方で「北東」とされますが、
この方角は十二支にあてはめると「丑」「寅」の方角(うしと
ら)にあたります▼古来鬼は
「牛」の角をもっていましたか
ら、これに「虎」のパンツを身
に付けさせているのです。

全国障害児学級・学校交流集会在開催

香教組から13名が山口集会に参加



集会の様子と熱心に聞く参加者 =2014. 1. 11

第13回となる全国障害児学級・学校交流集会在山口市を会場に1月11日(土)～13日(月)で開催され、全国から教職員・父母が830人集まり、障害児教育について大いに学び交流を深めました。
香川からも、障害児学級を持つ担任、障害児学校に勤める仲間13人が参加し、各県の様々な実践を聞くことができました。

前日の10日、山口市はこの冬一番の冷え込みで積雪を観測、天候が心配されましたが、当日は回復し、集会を迎えることができました。

聴覚障害の子どもが演奏

開会前の現地企画は、山口南総合支援学校太鼓部による「陶ヶ岳太鼓」の演奏でしたが、聴覚に障害のある生徒たちが、たいへん息の合った演奏を行い、大きな拍手が起りました。

茂木俊彦先生が講演

開会の挨拶は、山口県教組の山本委員長が、2013年12月に日本政府が「障害者の権利条約」を批准したことの意義にふ

れ人権確立を目指す運動が実ってきていると強調しました。

講演では、最近テレビにもよく出ている茂木俊彦先生(桜美林大学)が「障害児の教育実践の創造的探求のために」という題で話されました。

政治権力による教育内容への管理・統制・介入が強まっている中、東京七生養護学校の「こころとからだの裁判」で、都議・都教委が「指導内容が不適切である」としたことは、教育に対する介入であるとして「教員の示命令は許されない」という画期的な判決が出たことによ

「方法に子どもをあてはめるのではなく、子どもにあわせた方法を創造していくことが大切である」とのべられました。

二日目には、全国の実践家による「てんこ盛り講座」全国のレポートから学ぶ「旬の実践分科会」等が開催されました。

香川の仲間が全国に

寄宿の署名を訴える

香川から参加した仲間は、2012年度、寄宿舎署名を集めたことで、8年ぶりに採用試験が実施され、2名が採用になったこと。今年も署名を集め2年連続して採用試験が実施してもらえたことなどを話し、全国の同じ思いを持つ人たちに協力や支援を訴えました。

最終日には、通常学級の担当者や保護者にも対象を広げた教育フォーラムが開催され有意義な3日間を過ごすことができました。



沖縄平和の旅(参加旅行記)

12月26日から29日に、高松支部のY先生が香教組の所属する全日本教職員組合主催の「平和の旅」に出かけました。香教組からこの旅に参加するのは、Y先生が初めてです。
Y先生は、「日本の最西端になる島がどんな様子なのか、また戦時中これらの島がどのような状況であったのか是非知りたい」との思いで、「自分から『平和の旅』に参加したい」と希望し出発しました。短い日程でしたが、「日常の旅行では決して得られないものをもらった」と語っています。

自分にできることを何かしたい

12月26日は石垣市内を見学、案内は、八重山戦争マラリアを語り継ぐ会の潮平正道さんという方でした。戦時中朝鮮の人々が掘った壕を見学。青年が来るという事で、何日も前から壕の近くの草を刈って下さっていました。壕は海軍の指令基地の下に掘られ、無線基地として使用されていたそうです。

27日は与那国島で、案内は現地の宮良作さんご夫妻です。強風だったので、飛行機も条件付きのフライトでしたが、無事与那国島に到着。

崎元酒造を見学し、その後ティンダハナタ、浦野墓地群、軍人大栴大尉の墓、平和の塔、Drコ

12月28日は、波が高く波照間島の船便が欠航だったので、急遽西表島を見学しました。戦時中、西表島に集団疎開をしたために、戦争マラリアで多くの住民がなくなりました。このことを忘れないために波照間小学校の識名校長が彫った「忘勿石」を実際に見学しました。

Y先生は、沖縄より南西の島々で戦時中私たちの知らない悲惨な出来事が起こっていたことを知り、次の時代の人たちに語りな

いと行けないし、自分にできることを考えて何か行動すべきだと話していました。



美しい与那国島の海岸線の様子(上)
防空壕(ガマ)の見学の様子(下)

